

お客様訪問

北海道内でも数少ない屋根かわらぶき業者として
26年の社歴を持つ瀬川瓦工業さん。
エヌ・ピュア製品の愛用者でもある、
同社取締役の石田洋子さんにお話を伺いました。

お気に入りのスキンケア製品と
出会えたことに感謝です。



「小さい頃から泥をこねたりするのが好きで、学校の帰りにはよくコンクリートで瓦を作る作業を見たり、時には手伝つたりしていたそうです。そのうち『こいつは見込みがある』と思われたのか、そこの工場長から誘われてこの道に入ることになりました。」

もう居てもたつてもいられないくらいにワクワクしたものですね。」

「父は61歳で独立しました。私も夫

以来、瓦職人として「仕事の鬼」とまで言われた瀬川さんですが、家庭ではとても温厚でいつも冗談を言つては周囲を和ませていたそうです。

家族経営だったので、毎晩仕事上の

「私はそんな父が大好きで、毎日仕

す。
」

事場にもついて行きました。夏場になるとコンブ漁やイカつけもやっていました。

こうして長年かけて培つてきた技

つと海辺で遊んでいましたね。父は祭りで山車の太鼓を叩くのが大好き

活かされ、2001年（平成13年）には（社）日本建築士会連合会の「伝

言つてもいいぐらい（笑）。私も、遠くから太鼓の音が聞こえてくると、

に大きく掲載された記事を、家族全員感無量の想いで読んだそうです。

北海道函館市で屋根かわらぶき工事業を営む瀬川瓦工業さんには、北海道外からも工事の依頼がひとつたりなしに入ります。

「こうした景気の時代なのに、本当にありがたいことですよね。これも

長年かけて父が築いてくれた信用のおかげだと思います。」
石田洋子さんの御父様・瀬川福年さんは、地元でも有名な瓦職人。15歳から屋根かわらぶきの仕事に携わり、数多くの瓦屋根工事を手掛けました。

「60年以上携わってきた職ですものね。本当に嬉しかったのだと思います。そんな父も2009年(平成21年)に亡くなりました。何だか急にポツカリと穴が空いてしまったようで、しばらくは本当に寂しい毎日を送りました。」



家の前に広がる風景は昔のまま。御父様から3代に渡って遊んだ砂浜です



瀬川瓦工業さんが手がけてきた瓦工事には、長年培ってきた技術が活かされています

心労も重なったためか、この頃から肌の調子が気になり始めたといふ石田さん。以前患った「脂漏(しろう)性湿疹」も影響していたのか、化粧のノリが悪いことに悩む日々が続いたそうです。

使ってみて先ず驚いたのはその優しい使い心地。石鹼の泡の優しさは今まで経験したことがないものでしたし、ローションも肌にスープと浸透していくのがわかるようでした。内容成分も自然の原料ばかりなので、安心して使っています。私の経験か

現在は息子さんが瀬川瓦工業・社長として後を継ぎ、石田さんが経理面などでサポートをおこなっています。

「息子も小さい頃から父の仕事を見て育っていますから、安心して任せら

「以前『危ない化粧品』という本を読んだことがあったので、化粧品は内容成分をよくチェックしてから買おうように気をつけていました。でも何となくしつくりこない。知人からエヌ・ピュアさんの手づくり石鹼とスキンケア製品を教えて貰ったのは、ちょうどそんな時でした。

「つけた次の日から肌が変わるもの!!」と言つて、友人にも薦めているんですよ。最近になって『蜂つ子』も始めてみました。体力・気力が湧いてくる、つて本当ですね！体の内側からも外側からも、エヌ・ピュアさんから元気を貰っている感じです(笑)。」

「お客様に信頼していただける良い仕事をしよう」という創業者の理念のもと、堅実に歩み続けている瀬川瓦工業さん。

これからも益々のご発展をお祈りしております。

瀬川瓦工業　函館市根崎町54-2
TEL 0138・57・4679
FAX 0138・57・2671